

- 問1

1870年代前半、明治政府が欧米の先進的な制度や技術を視察するために派遣した岩倉使節団には、最年少の女子留学生としてある人物が同行していました。アメリカでの長期留学から帰国後、日本の女子教育の地位向上を目指して女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設した人物は誰ですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）

1. 津田梅子

2. 与謝野晶子

3. 樋口一葉

4. 平塚らいてう
- 問2

15代将軍徳川慶喜は、倒幕派に政権を武力で奪われるのを避けるため、1867年に政権を朝廷に返上しました。しかし、薩摩藩や長州藩らは徳川家を完全に排除した新政府の樹立を目指しました。このとき、幕府の廃止と天皇を中心とする政治への復帰を宣言したものを何といいますか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 王政復古の大号令

2. 大政奉還

3. 五箇条の御誓文

4. 版籍奉還
- 問3

文明開化の時期に、日刊新聞の創刊や欧米の思想の導入、さらには洋食の普及といった生活様式の変化が急速に進められた背景にある、明治政府の目的として最も適切な説明はどれか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 都市部での大衆娯楽を普及させることで、国民の不満を和らげ、大正時代に始まる民主主義的な運動を抑制しようとした。

2. 欧米の文化や思想を積極的に取り入れることで、日本の近代化を国内外に示し、欧米諸国と対等な関係を築くことを目指した。

3. 江戸時代から続く蘭学を基礎として、日本の伝統的な武家文化をさらに発展させ、封建的な身分制度を維持しようとした。

4. 就学率を100%にまで高めることで、すべての国民が政府の発行する雑誌を強制的に講読し、国家の統制を強めようとした。
- 問4

地租改正の実施に際して発行された「地券」と、それに基づく納税のルールについて説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 三重県公立入試 類似）

1. 地券を持つ地主は、輸出入の総額に応じた税金を毎年異なる割合で現金納付した

2. 土地の広さに応じて地券が発行され、江戸時代と同様に村単位で連帯して米を納めた

3. 実際に田畑を耕している小作人が、収穫した米の30%を地主の代わりに政府へ納めた

4. 土地の所有権を認める地券が交付された土地の所有者が、納税義務者となった
- 問5

明治時代初期に設立された富岡製糸場の役割や、当時の社会状況についての説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。なお、当時の記録には山口県など遠方の地域からも技術を学ぶために若者が派遣されていたことが示されています。（2023年 山口県公立入試 類似）

1. 政府の直接管理により、伝統的な手作業による製糸技術を保存し、国内向けに高級な絹織物を供給し続けた

2. フランスの技術と機械を導入し、全国から集まった工女たちが技術を習得して、各地の製糸業の指導者となった

3. ドイツの技術を導入して北九州に建設され、鉄鋼の自給自足を目指すとともに、日本の重工業化の先駆けとなった

4. 足尾での鉱毒問題を受け、環境汚染を防ぎながら銅を効率的に生産するための最新設備を備えた工場として稼働した
- 問6

日本のスポーツ史と外交史を並べた年表において、岩倉使節団がアメリカ合衆国へ派遣された時期と、アメリカ人教師によって野球が日本に伝えられた時期は、明治時代の初期で重なっています。このように、明治政府が近代産業の育成や教育・文化の発展のために招いた外国人が果たした役割の説明として、正しいものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 大日本帝国憲法の草案を単独で作成し、日本の議会政治を完成させた。

2. 満州事変の調査のために派遣され、国際連盟に報告書を提出した。

3. 鎖国制度を維持しながら、長崎の出島で限定的な学問の伝達を行った。

4. 欧米の先進的な技術や知識を直接指導し、日本の近代化を加速させた。
- 問7

明治政府が、欧米諸国に並ぶ国力を養う「富国強兵」を達成するために、1872年に発布した教育制度は何ですか。（2017年 長野県公立入試 類似）

1. 徴兵令

2. 秩禄処分

3. 学制

4. 地租改正
- 問8

かつての薩摩藩・長州藩・土佐藩・肥前藩の4藩による連合が発足してから150年を迎えることを記念し、近年ではこれらの地域が連携して広域的な観光プロジェクトを実施しています。この4藩が中心となって江戸幕府を倒したのち、明治政府によって進められた政治・経済・社会の近代化を目指した一連の改革を何といいますか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）

1. 地租改正

2. 文明開化

3. 殖産興業

4. 明治維新
- 問9

明治時代、福沢諭吉は著書『学問のすゝめ』の中で、「天は人の上に人を造らず、人の下になんて人を造らず」という有名な一節を記しました。福沢がこの言葉を通じて、当時の国民に最も伝えたい考え方はどのようなものですか。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 封建的な身分制度を批判し、人間は本来平等であり、自立するためには実学を学ぶことが重要であるという考え。

2. フランスのルソーの思想を日本に紹介し、国民の主権を確立するために自由民権運動を推進すべきであるという考え。

3. 江戸時代から続く伝統的な儒教の道徳を重んじ、目上の人を敬うことで社会の秩序を保つべきであるという考え。

4. 欧米諸国に対抗するために、天皇を中心とした強力な軍事国家を築き、攘夷を断行すべきであるという考え。
- 問10

明治初期、日本が清（中国）および朝鮮と結んだ条約の性質について、正しい説明はどれですか。それぞれの国との関係性に注目して選びなさい。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 清とは日本に有利な領事裁判権を認めさせる不平等条約を結び、朝鮮とはお互いの主権を尊重し合う対等な条約を結んだ。

2. 当時の日本は清と朝鮮の双方に対し、欧米列強から受けていたものと同様の、日本側に不利な不平等条約を結ばされた。

3. 清とは互いに領事裁判権を認める対等な条約を結び、朝鮮とは日本側に領事裁判権を一方的に認めさせる不平等条約を結んだ。

4. 欧米諸国への対抗を優先し、清と朝鮮のどちらに対しても、関税自主権を相互に認める完全な対等条約を結んだ。
- 問11

明治政府が「版籍奉還」に続き、1871年に「廃藩置県」を断行して中央集権体制の確立を急いだ理由として、最も適切なものはどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 各地の旧藩主（知藩事）に独自の徴税権を与え、地方経済を活性化させるため

2. 地方の自治を尊重し、各地域の特色に合わせた独自の法律を運用させるため

3. 江戸幕府の仕組みを維持しながら、天皇を中心とした形式的な政治を行うため

4. 全国一律の徴税や軍事体制を整え、欧米列強に対抗できる強力な国をつくるため
- 問12

19世紀後半、江戸幕府から明治政府へと時代が移り変わる中で、日本が最も強く意識した国際的な状況として適切なものを選びなさい。（2016年 長野県公立入試 類似）

1. 元寇の再来に備えた全国的な海岸線の防備強化

2. 冷戦の終結による国際社会の安定と自由貿易の拡大

3. 白村江の戦い後の唐・新羅連合軍による日本侵攻の懸念

4. 欧米諸国によるアジアへの進出と植民地化の危機